

<事業所全体による自己評価> R1.11.09実施

おほしさま園

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過 R2.11時点
療育空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか、また、子ども達に合わせた空間になっていますか	・見た目や匂いを気にする保護者が多かった ・過敏な子ども多い	・床やジョイントマットは拭いたりできていない。おもちゃを拭くなども、毎日ではできていない。 ・殺風景については、気が散らないためでもあるが、周知できていない。 ・一部のトイレの匂いについては、職員も感じているが、対応が難しい。消臭剤はおいているが、くさくて入れない子もいる。	きれいな施設をつくる	・朝の掃除の時間、現在は二人で行っているが全員で行う。 ・jumpの就労支援で掃除を取り入れてもらう。 (業務の中に、準備、片付け、記録までが仕事であり、時間内に確保したいが、出来ていない状況。清潔さを保つまでに時間をさけない。) ・くまぞうのトイレの改修(業者を入れる)	早急	療育終了後にマットやおもちゃの消毒作業をこまめに行っている。 トイレの匂いについては、応急処置として防臭剤を使用し、におい自体はあまり気にならなくなり、日々清掃をこまめに行いながら、使用できるようになっている。
(昨年度からの継続) 生活空間は、利用児童にわかりやすく構造化し、工夫された環境になっていますか また、バリアフリー化の配慮がなされていますか	子どもにとっても職員・保護者にとってもわかりにくい	・入っていいところ、いけないところが決まっていない、統一されていない(昨年度) ↓ ・スタッフルームは子どもが入らないよう徹底している ・個別と集団での違いは、昨年よりは整理されているのではないか。 ・トイレの表示が分からない ・利用できるトイレが少なく、使いづらい ・迷子になる子がいる	みんなが分かるようにする	・くまぞうの倉庫には入ってしまっているので、×マークをつけるべき ・1階のキッチンは「スタッフと一緒に入ります」にしてはどうか。 ・4月に毎年見取り図をつくって渡してはどうか。 ・保護者が使えるトイレを表示しておく	早急～令和2年度	入ってもいい場所、そうでない場所の区別はできるだけ統一している。 大きな施設ではないので、トイレ表示をこまめには行うことはできていないが、たずねられたらすぐに案内するよう配慮している。バリアフリー化というよりも、こどもにとって過ごしやすい場所になるよう、工夫を行っている。
(昨年度からの継続) 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	支援計画 保護者、職員から共通で出ている課題なので	・保護者同士、集団の親子療育時は、話す時間をとっている。しかし、親任せになる。 ・先輩お母さんの会、年2～3回、ダウン症の会 ・親子グループの勉強会 ・疾患別保護者会を計画中 ・先輩お母さんの会やダウン症の会などは行っているが、対象でない保護者もいる ・軽度の発達障がいのお子さんたちの保護者交流会ができていない。 ・交流会はしたいが、職員配置的に難しい	保護者の交流の場を継続的にもつ	・古賀特の見学日に、終了後にお茶会などあってもいいのでは。 ・療育日の外出で、保護者の交流が深まっているのでは。ただ、そのためには、職員の人数が必要。 ・同じ学校に行く人たちと話がしたい。 ・先輩お母さんの会の後に、地域別での交流会などを行うか。 ・研修日を交流会にあてるか ・学年ごとのつながりもつくりたい→クリスマス会を学年別ですか	早急～令和2年度	計画はしていたが、今年度はコロナウイルス感染防止のため、親子療育の機会が減り、勉強会なども行えていない状況。学校の見学会を行ったり、例年行う先輩お母さんの会の話は、開催できなかったかわりに、話す内容を書面にまとめて配布するなどの工夫を行った。交流会なども計画していたが集まることを控えたため、行わなかった。ズームなどを使用した交流会なども検討する必要があると感じている。